

14日、社会人対象 柔道団体戦大会

松波総合病院が第1回企画



「生涯楽しく柔道が続けてほしい」と話す松波英寿理事長＝羽島郡笠松町、松波総合病院

松波総合病院(羽島郡笠松町)は、社会人を対象とした柔道の団体戦大会「第1回文武両道杯」を14日に病院内の柔道場で開催する。学生に比べ大会の少な

い社会人選手が活躍する場をつくり、生涯楽しく柔道が続けてもらうのが狙い。考案者の松波英寿理事長によると、社会人向けの柔道大会は年に数えるほど。

高校や大学を卒業した後も稽古を続けている人は多い一方、成果を確かめる機会がないことから企画した。

「体の小さな選手が大きな選手に勝つという、柔道特有の面白さ」(松波理事長)のため、男女ともにチームの合計体重で部門を分ける。男子は3人で219キ以上と未満、女子は同171キ以上と未満の各2部門。松波理事長は「どのチームにも勝つ可能性があり景品にもこだわった。大人になっても楽しく柔道をし

てほしい」と話している。大会は14日午前10時から同病院内の柔道場「文武両道館」で。男女計20チームがエントリーしている。

(安井真由子)